

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和2年10月8日(2020.10.8)

【公開番号】特開2019-30532(P2019-30532A)  
 【公開日】平成31年2月28日(2019.2.28)  
 【年通号数】公開・登録公報2019-008  
 【出願番号】特願2017-153513(P2017-153513)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月26日(2020.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各種処理を実行する制御手段を備え、

当該制御手段は、

前記各種処理のうち第1所定処理を実行する第1所定処理実行手段と、

前記各種処理のうち第2所定処理を実行する第2所定処理実行手段と、

前記第1所定処理が実行される場合に情報が記憶される第1所定記憶領域と、

前記第2所定処理が実行される場合に情報が記憶される第2所定記憶領域と、

を備え、

前記第1所定処理には遊技を進行させるための処理が含まれており、

前記第2所定処理には遊技履歴を管理するための処理が含まれており、

前記第1所定処理実行手段は、

前記制御手段への動作電力の供給が開始された場合に前記第1所定記憶領域に情報異常が発生していることが特定されたことに基づいて、前記第1所定処理として、前記第1所定記憶領域の情報を消去し前記第2所定記憶領域の情報を消去しない第1消去処理を実行する手段と、

前記第1所定処理として、動作電力の供給が開始された後において遊技を進行させるための処理を実行する手段と、

を備え、

前記第2所定処理実行手段は、

前記第1所定処理における遊技を進行させるための処理が開始された後において、前記第2所定処理として、前記第2所定記憶領域が正常であるか否かを監視するための所定監視処理を実行する手段と、

前記所定監視処理にて前記第2所定記憶領域が正常ではないと特定されたことに基づいて、前記第2所定処理として、前記第2所定記憶領域の情報を消去し前記第1所定記憶領域の情報を消去しない第2消去処理を実行する手段と、

を備えていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

ここで、上記例示等のような遊技機においては、各種制御を好適に行う必要があります、この点について未だ改良の余地がある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記例示した事情等に鑑みてなされたものであり、各種制御を好適に行うことが可能な遊技機を提供することを目的とするものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決すべく請求項1記載の発明は、各種処理を実行する制御手段を備え、当該制御手段は、

前記各種処理のうち第1所定処理を実行する第1所定処理実行手段と、

前記各種処理のうち第2所定処理を実行する第2所定処理実行手段と、

前記第1所定処理が実行される場合に情報が記憶される第1所定記憶領域と、

前記第2所定処理が実行される場合に情報が記憶される第2所定記憶領域と、

を備え、

前記第1所定処理には遊技を進行させるための処理が含まれており、

前記第2所定処理には遊技履歴を管理するための処理が含まれており、

前記第1所定処理実行手段は、

前記制御手段への動作電力の供給が開始された場合に前記第1所定記憶領域に情報異常が発生していることが特定されたことに基づいて、前記第1所定処理として、前記第1所定記憶領域の情報を消去し前記第2所定記憶領域の情報を消去しない第1消去処理を実行する手段と、

前記第1所定処理として、動作電力の供給が開始された後において遊技を進行させるための処理を実行する手段と、

を備え、

前記第2所定処理実行手段は、

前記第1所定処理における遊技を進行させるための処理が開始された後において、前記第2所定処理として、前記第2所定記憶領域が正常であるか否かを監視するための所定監視処理を実行する手段と、

前記所定監視処理にて前記第2所定記憶領域が正常ではないと特定されたことに基づいて、前記第2所定処理として、前記第2所定記憶領域の情報を消去し前記第1所定記憶領域の情報を消去しない第2消去処理を実行する手段と、

を備えていることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によれば、各種制御を好適に行うことが可能となる。